

3本の木とともに

清瀬市長

渋谷金太郎

あらためて、日本社会事業大学の京極元学長に感謝です。約22年前『清瀬讃歌』創作に動いてくれました。私は今、ほぼ毎日自宅で『清瀬讃歌』のピアノ演奏をしています。「祈り」を込めているからです。清瀬市長の立場で、『清瀬讃歌』を大事にしていれば、その見えない力が清瀬、清瀬市民を守ってくれるに違いないと信じるからです。

2番の歌詞、「～闇を焼く 火の花祭り 誇らかな 願いがこもる～」、まさに今の「闇」はコロナです。残念ながら9月1日の中里の「火の花祭り」は中止になりましたが、過去から脈々と続いている「闇」を焼く力は動いてくれていると期待しています。

ですから、『清瀬讃歌』に続いて『青い山脈』をピアノ演奏すると、時々涙が出てきます。「～若く明るい歌声に なだれは消える 花も咲く～」、戦後間もない昭和24年に作られた時の社会状況に思いを寄せると、まさに「闇」を焼いてきてくれた先人たちの労苦に感謝の気持ちが湧いてきます。

こうして、『清瀬讃歌』にますます愛着を深めていますので、先月の『国民平和大行進』出発式でも、清瀬が「和のまち」であることが表されている4番を歌わせてもらいました。参加者の皆さんが歌に合わせて手拍子をしてくれて、とても嬉しかったです。自然と力がこみ上げ、「皆さん、清瀬から【平和】を築いていきましょう!」とまとめました。

さて、8月4日に行われたオリンピックのスケートボード競技で、コロナに

向かって『青い山脈』が現れた感じがしました。12歳の開心那さんが、日本選手史上最年少で銀メダルを獲得したのです。まさに女性が大きく輝き、「若く明るい歌声に なだれは」消されたかのようです。そのお名前からして心が開かれる思いです。

今回のオリンピックで日本勢のメダル獲得数は58(うち金は27)ととても多く、本当にありがたいことです。この清瀬市からも、六小・二中出身の久保田愛夏選手が、カヌースプリント競技・カナディアンペア500mで出場しました。藤島体操クラブから新体操の種目で出場した3選手以来の期待の選手でしたが、善戦及ばず今回はメダルを逃してしまいました。しかし、私たちに大きな夢と希望を残してくれたことは、先の読めない時代にあって何よりもかけがえのないものだったと本当に感謝しています。『捲土重来』、久保田選手には次に向けてさらなる飛躍を期待しています。

昨年は12年ぶりに台風が日本列島に上陸しませんでした。コロナの感染が広がるなか、台風直撃が重なることによる市民生活への重大な影響を思うと、不謹慎ながらこの台風の偶然の進路変更にありがたさを感じてしまうのです。

このようなことから、責任を負う立場は、【感謝】の念がとても大事だと思っています。昔の人たちが「闇」と闘い、「闇」を焼いてきてくれたからこそ今は明るいのです。『清瀬讃歌』を皆で大切にしていきたいでしょう。

胃・大腸がん検診(後期募集)

胃・大腸がん検診を同日に行うことができる検診です。胃がん検診は、バリウムを飲みエックス線撮影を行います。大腸がん検診は、便潜血反応検査を行います(採便容器に2日分の便を採取し、提出していただきます)。本市に住民登録のある40歳以上(昭和57年3月31日以前生まれ)の方。各日定員45人(申込み多数の場合抽選。抽選結果は9月上旬に日程調整等の案内と合わせて送付予定) 10月8日(金)・11日(月)・25日(月)・27日(水)、11月4日(木)・5日(金)いずれも午前のみ 費用胃がん検診1,000円・大腸がん検診500円

場健康センター

申問8月24日(当日消印有効)までに、はがき(記入例参照)、電子申請、または直接健康推進課窓口へ

健康推進課健康推進係 ☎042-497-2075

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため可能な限り窓口での申込みはお控えください。

※50歳以上(昭和47年3月31日以前生まれ)の方は無料。また、生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付対象者は生活福祉課で発行する証明書を、住民税非課税世帯の方は健康推進課で発行する「がん検診自己負担金無料券」を提出すれば無料。

はがき記入例(普通はがきでお申込みください)

63
〒204-8511
清瀬市健康推進課 がん検診担当 行

令和3年度
胃・大腸がん検診申込み

- ①住所
- ②氏名(ふりがな)
- ③生年月日
- ④電話番号
- ⑤希望する検診の種類(胃がん検診のみ、大腸がん検診のみ、胃・大腸がん検診両方)
- ⑥実施日のうち希望する検診日(複数記入可)



電子申請はこちら

※市ホームページ内に電子申請のリンクがあります。

市史編さん室の刊行物のお知らせ

～郵送でもお求めいただけます～

『清瀬 あの頃 この景色 市制施行50周年記念誌』は令和2年10月1日刊行で、写真や年表で清瀬市の50年を振り返ります。『清瀬市史3 資料編 古代・中世』は、北条氏照の古文書や板碑など987点を掲載しており、その「補遺」も今年刊行しました。『市史研究 きよせ』は現在第6号まで刊行。

市史編さん事業の進捗や、聞き取り調査の成果などを報告しています。

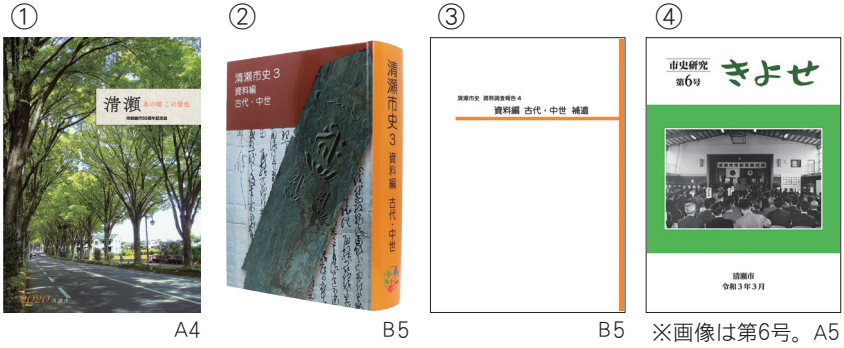
これらはいずれも郵送でお求めいただけます。刊行物によって送料が異なります。詳しくは市史編さん室へお問い合わせください。

市史編さん室市史係 ☎042-497-1813

【主な刊行物一覧】

50周年記念誌は圧巻のオールカラー!

- ①『清瀬 あの頃 この景色 市制施行50周年記念誌』…84頁・500円
- ②『清瀬市史3 資料編 古代・中世』…本文742頁・2,000円
- ③『資料編 古代・中世 補遺』…92頁・700円
- ④『市史研究 きよせ』第1号～第6号…80頁前後・各号300円



全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

～子どものみんなへ～

学校でこまったことや、家でこまったことなどで、なやんでいませんか? おでんわでそうだんをうけています。

いじめや児童虐待などの人権問題について、人権擁護委員や東京法務局職員が通常より時間を延長し、電話相談に応じます。8月27日(金)から9月2日(木)までの月～金曜日午前8時30分～午後7時、土・日曜日午前10時～午後5時

【相談電話番号】 ☎0120-007-110

(全国共通・無料)
東京法務局人権擁護部第二課 ☎0570-011-000 (ナビダイヤル)
※強化週間以外も、平日午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じています。お気軽にお電話ください。

第11回特別弔慰金の請求手続きについて

「予約制」としてします

混雑緩和のため、請求手続きは「予約制」とさせていただきます。事前に下記までお電話いただき、来庁の予約をお願いします。

国として弔慰の意を表すため、戦没者等のご遺族に、特別弔慰金が支給されます。支給対象で未請求の方はお手続きください。

【支給対象者】戦没者等の死亡当時のご遺族で、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受ける方がいない場合に、先順位のご遺族1人に支給。戦没者との続柄などにより、請求できる順位や要件が定められています

【請求受付期間】令和5年3月31日まで

【支給内容】額面250,000円、5年

償還の記名国債
【請求手続き(予約制)】請求者により手続きに必要な書類が異なります(ご遺族様の状況を詳しく伺いながら、必要書類をご案内します)。ご自身が該当されると思われる場合には、必ず事前にお問い合わせください

◆郵送での請求について
郵送による請求手続きにも対応しています。ご希望の場合は下記までお問い合わせください。

【予約受付及び問合せ先】福祉総務課福祉総務係 ☎042-497-2056

清瀬 ことば 俳句

選評＝石田波郷俳句大会実行委員会・谷村鯛夢
※今回の俳句は「第12回石田波郷俳句大会」ジュニアの部から。学年は大会時。

人の声聞こえぬ春の商店街……………二中2年 山村一太 (評) ポイントは、中七の後半から下五にかけての「春の商店街」。こういう語句の使い方を「句まがり」というが、それはさておき、普段ならばにぎやかでハッピーな感じのこの語句が、今年は、という作者。

今年だけはけなかつたよサンダルを……………三小6年 松田芽衣子 (評) 五七五のリズムで、できれば季語を一つ、というのが俳句の基本だが、季語は新しいものが出て来る。サンダルも新季語の一つ。そのサンダルでプールや海に行きたかったのに、コロナ禍で今年は、という作者。

リモートより自分で行きたい墓参り……………四中3年 北山百華 (評) この句も、コロナ禍で今年は、という作品の一つ。「今」を表現する俳句では、当然こういう作品も増え、「墓参り」という伝統的な秋の季語に新しい感覚が加わった。その上で、大事にしたい中七の気持ち。